

# カレッジ通信

発行  
東京建築  
カレッジ

第19期生

祝！  
卒業特集

## 栄養士→美大で陶芸。そして、建築の世界へ。 手刻みが学べて良かった！木造建築の魅力を知った！

今春卒業の第19期生 設計・デザイン 新川 小百合さんに聞きました。



東京建築カレッジの第19期生、17人が3月26日、修了式を迎え、無事卒業しました。一人ひとりの人生にとって、かけがえのない2年間になったことでしょう。学科・実技両面で優秀な成績を収め、東京都職業能力開発協会会長賞が贈られた新川（あらかわ）小百合さんに、入学のきっかけ、カレッジの学びの魅力、これからの抱負を聞きました。

（入学のきっかけ）私は高校卒業後、栄養士の資格を取得し、3年間働いていました。でも、高校時代に知ったデザインの仕事が好きで、美術大学でもう一度学ぶことにしました。美大時代には陶

芸を勉強し、銀座のギャラリーの作品展に参加したこともあり。就職では、以前から興味があった建築の仕事調べて、現在勤めている設計事務所に入りました。

建築は資格が不可欠な世界です。建築士協会にどうすれば資格が取れるか聞いてみました。受験資格を得るには実務経験年数が必要なことを知り、指定の学校に通えば、受験資格が取れると教えられ、働けるから学ぶことができる建築カレッジを選択しました。

◇  
◇  
◇



（印象に残っていること）

入学後、一番びっくりしたのは、いきなりノミやノコギリを渡され、手刻みでものを作り始めたこと。実習棟を作る授業は知っていましたが、手刻みで全部作るとは思っていませんでした。おかげで、手刻みしかできない仕事があるのを知りました。それまでの私は木造建築の良さがまるで分かかっていませんでしたが、入学後は旅先での木造建築の見方が変わりました。

◇  
◇  
◇

（卒制の思い出）卒業制作は「せっかくこの学校に入ったのだから」と考え、「入母屋屋根班」に入れてもらいました。設計は私が担当、高卒後すぐに入学した若い大工さ

ん3人とチームを組みました。最初は図面さえ書いて指示すれば、作業は進むと思っていました。けれども、実際には、設計の意図を正確に伝え、やる気を引き出す努力が大切であることを学びました。

◇  
◇  
◇

（仕事との両立）金曜、土曜にカレッジに通うことを社長には了承してもらっていたのですが、やはり大変でした。お客様の立ち会いを先輩に代わって

（規矩術の魅力とは）

もらったことが何度もありました。卒制の時期は授業日以外も学校に行かざるをえません。仕事に影響が出てしまったこともありました。通学を許してくれた社長や応援してくれた先輩、同僚には本当に感謝しています。

◇  
◇  
◇



## 第21期生は、 22人が入学します。

今年4月入学の第21期生は、22人が入学することになりました。工業高校で建築を学んでいた人、環境問題への関心から山林保全につながる仕事を志した人、他業界から建築の世界への転身組、オーストラリアで農業に従事、一念発起して大工を目指すことにした人・・・。今期もバラエティーに満ちた顔ぶれです。

入学式は4月6日（水）。翌日から9日間の集中授業が始まります。授業の見学は大歓迎。事前にご連絡ください。

電話03（5950）1771

カレッジでは、数  
 学理論を建築に応用  
 する規矩（きく）術  
 を初めて知りました。  
 1年生の時に、橋本  
 先生から手書きの図  
 面集をもらい「これ  
 はなんだろう」と思っ  
 ていました。2年に  
 進級し、卒制に取り  
 掛かるようになって、  
 本格的に勉強するよ  
 うになり、入母屋屋  
 根の図面を繰り返し  
 書きながら、自習し  
 ていました。すると、  
 段々と分かるようにな  
 ってきました。壁  
 に当たったら先生に  
 聞いて、また勉強を  
 続けました。難しい  
 けれど、繰り返し返して  
 試すうちに、サンガ  
 ネと墨差しがあれば  
 できる、ということ  
 が理解出来ました。  
 一度分かってくると、  
 四方転びや隅木も作  
 り方が見通せるよう  
 になりました。仕事  
 でプレカットの図面  
 を見ても具体的な  
 なイメージが浮かび  
 ますし、屋根の勾配  
 の在り方の見方も深



①カレッジに入って良かったことは？、②先生方や事業主に一言、  
 ③これからの夢

1、新川 小百合さん  
 ①木材を知り、一対一で向き合うことでした。成し得ない仕事があるのだと分かった。②先生方の持っている知識を出し惜しみもせず、丁寧に教えてくれたことに感謝しています。③自分の家を設計して、手刻みで建てること。

2、アルファノ・ドメニコさん  
 ①色々なことを勉強しました。②本当にありがとうございました。③2級建築士！

**手刻みをずっと続ける！**

3、井上 匠さん  
 ①仲間、手刻みに出会えた。入る前と今じゃ意識がまるで違う。四方転び、頑張ります。  
 ②本当にすごい先生ばかりで感謝の気持ちしかないです。何か恩返ししたいです。  
 ③全国金メダル。手刻みをずっと続ける。ハイパー大工になります。  
 4、大内 嘉さん  
 ①人と出会えたこと。②お世話になってます。また、なりまします。③夢を実現させること。

5、大西 智子さん  
 ①人間関係の難しさを感じた。  
 ②事業主様に感謝の気持ちでいっぱいです。多くの人に支えられてここまで続けてこれました。西岡  
 6、大野 成美さん  
 ①同じ目標に向かう仲間に会えたこと。年齢に関係なく関わりを持てたこと。大工技能が少し上がっ



**カレッジに入ると良かったことは？**  
**第19期生 全員に聞きました。**

まってきた感じがします。  
 ◇ ◇ ◇  
 (これからの夢)

地道に住宅設計に取り組みたい。仕事以外で、自分の家を手刻みで作ってみたい。建築って人間が作るものの中で大き

いもの。学生時代にやっていた陶芸は窯（かま）の大きさと制限があります。建築は限りなく大きいものがつくれます。

デザインも、陶芸もこれまで学んできたことはすべて建築の仕事に役立っている実感しています。

教務部長様、皆の父のように言葉をかけて、卒業までこれましました。ありがとうございました。③資格を取得してきたい。大工として技術や知識向上と現場監督も視野に入れて仕事をしたいです。



たこと。  
 ②長いようで短い2年間、様々な経験が出来て本当に良かったです。そして、あたたかく送り出していただいた事業所の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。  
 ③19期の皆に負けないう職人になること。青年技能競技大会の四方転びで優秀な成績を残すこと。

7、工藤 拓哉さん  
 ①素晴らしい仲間に出会えたこと！  
 ②2年間、お世話になりました。  
 ③立派な大人になる。

8、小番ジョンさん  
 ①みんなと色々な情報交換ができたこと  
 ②みんなとてもよくしてくれました。  
 ③一人前の大工になる。

9、竹内 耀さん  
 ①友だちができた。建築関係のことを一から学べた。  
 ②先生方や事業主の助けがなかったらこ

10、竹山 綾さん  
 ①木造建築に興味がありませんでしたが、この学校で学び、面白さや将来性を感じられたことです。建築において木造の考え方は、もっとも基礎であることに気づけたことが仕事でも役に立っていると思います。  
 ②大学では学べない本質的な授業をしてくれた先生と、この学校に通わせてくれた事業主、仕事関係の方々にはとても感謝しています。もっと、この学校の素晴らしいさをアピールし、様々な人に認知されることを願っています。  
 ③ウィキペディアや雑誌に載るような建

11、田中 雅憲さん  
 ①一から建築を学ぶことができてとてもよかったです。  
 ②2年間、本当にご迷惑をおかけしました。③まずは今の仕事を100%出来るようにすること。今は知識を経験に変え、色々なことにチャレンジしていきたい。

12、徳島 友之さん  
 ①一から建築を学ぶことができてとてもよかったです。  
 ②2年間、いろいろな経験を積み、色々なことにチャレンジしていきたい。

13、羽鳥 大樹さん  
 ①色々な人に出会えた。色々な情報交換ができた。  
 ②無知の自分を指導していただき、ありがとうございました。これからも頑張ります。

14、藤田 悠希さん  
 ①仲間ができたこと。道具の良さが学べたこと。

15、南 貴大さん  
 ①素晴らしい仲間に出会えたこと。  
 ②今まで本当にありがとうございました。  
 ③一人前の人間になって日々成長していきたいです。

16、宮 勇太さん  
 ①アンチ設計屋の概念を変えてくれた長谷部先生に出会えたこと。一年のときに関わった実習の先生たち、特に佐々木先生や永矢先生にお世話になったこと。  
 ②まず送り出してくれた事業主、親方に感謝。勉強なんてするかと思っ

17、山中 陽子さん  
 ①精神的にも肉体的にも鍛えられたと思う。  
 ②2年間、お世話になりました。  
 ③建築の勉強は続けていきたいと思っています。

大学では学べない授業！



①たくさんさんの知識などを勉強できてとてもためになりました。いい仲間たちに出会えてよかったです。  
 ②2年間、いろいろな迷惑かけてすみませんでした。③カレッジで学んだことを仕事に生かしていきたいと思えます。資格も取ろうと思っています。

②色々ご迷惑をおかけしました。  
 ③少しずつでも良いので家具を作りたい。いい仲間に出会えてよかった。

①精神的にも肉体的にも鍛えられたと思う。  
 ②2年間、お世話になりました。  
 ③建築の勉強は続けていきたいと思っています。

次は施工管理に挑戦だ！



①素晴らしい仲間に出会えたこと。  
 ②今まで本当にありがとうございました。  
 ③一人前の人間になって日々成長していきたいです。

①素晴らしい仲間に出会えたこと。  
 ②今まで本当にありがとうございました。  
 ③一人前の人間になって日々成長していきたいです。

①素晴らしい仲間に出会えたこと。  
 ②今まで本当にありがとうございました。  
 ③一人前の人間になって日々成長していきたいです。

3月26日、池袋校舎で行われた第19期生修了式には、多数の来賓、先生方が参加されました。祝辞の一部を紹介しします。

### 学んだことが生かせる社会を 共につくろう

河合工務店 会長 河合 孝さん



技術研修

私も夜学で建築士木を学んだので、働 きながら学ぶ大変さは良く分かります。まずはここに残ったことが皆さん素晴らしい。



今、日本の家づくりはほとんど変わっている。皆さんが墨付けや刻みをやりたくてもできない時代の下、日本の家づくりの文化を守っていくことが大事です。学んだことを生かせる社会にしていかなければならない。共に頑張りましょう。

ただきたいということだと思います。次の世代を育てる受け皿を充実させることが非常に重要です。一方で、カレッジ生は組合の活動に積極的に参加していただきたい。社会と一緒に変えていきましょう。

### タンポポのようにな、 しぶとく生きてほしい。

教務運営委員 橋本 英夫 統括指導員



まずは修了おめでとうございます。どれだけ心配したか。とにかく、しぶとく生きて、あきらめたらそれで終わり。や



各級の卒業制作では、思い描いた通りには進まない現実から、工程管理とコミュニケーションの重要性を学んだ。

でも、着地したところには必ず根を張る。踏みつけられたら、こんな小さくなくても花をつける。そういったしごとさが大事ななんだ。

る意思を強くして、やり続けることが大事。今、やっと桜が咲き始めたけれど、私が好きなのはタンポポだ。タンポポというのには頼りない。ふわふわして、どこに行くかわからない。

うんじゃなくて、自分で探す。そういった気迫を持つのが大事。二年間勉強したことを生かす、そういったことを忘れないで、とにかく、あきらめない、しぶとく生きる。そのことだけ言って終わりにします。

**入学式の翌日 4月7日（木）スタート！ 江東実習場で！**

**「9日間の集中授業」は、見どころいっぱい。**

**事業主のみなさんの見学を歓迎します！** 見学ご希望の方は事前にご連絡を！

- ◎「木造工作法」(橋本英夫統括指導員) 学ぶとはどういうことか。橋本先生の体験も披露する学科授業です。学び続ける建築職人による匠の講義です。
  - ◎「木造工作実習Ⅰ」(佐々木雄司・山田幸延先生他) 2年間使用する「道具箱」作りから始まります。手道具の扱い方、研ぎ方の初歩から丁寧に解説します。
  - ◎「安全工学演習Ⅰ」(佐々木雄司先生) 安全な作業の基本を徹底します。
  - ◎「建築測量基礎」(黒田順講師) 元都立高校の物理担当教諭が中学数学の初歩から手ほどき。黒田先生はカレッジ9期生です。
- 新人の育成のご相談もお気軽に！
- 江東実習場  
東京都江東区北砂1の15の12、電話03・5632・4201